

第1回酒田市史跡山居倉庫保存活用計画策定委員会 議事概要

開催日時：令和3年10月26日（火）13：30～14：30

開催場所：酒田市役所3階第二委員会室

1 開会

事務局	開会あいさつ 委嘱状の交付は密を避けるため座席への配布に替える。
-----	-------------------------------------

2 酒田市長あいさつ

丸山市長	<p>皆様、大変お忙しい中、山居倉庫保存活用計画策定委員会の第一回の会合にお集まりいただきありがとうございます。市内外から大変お忙しい中、酒田までお越しいただきました事、重ねて感謝申し上げます。新型コロナで全国各地大変ですけれど、酒田はしばらく感染者が出ておらず、まずは収束に向けて階段を上っているという思いで今後の展開に期待をしたいと思っています。</p> <p>このような中、3月26日に官報掲載されて山居倉庫が国の史跡に指定を受けました。私共にとっては大変嬉しい史跡への指定と捉えております。ご存知の通り、山居倉庫は現役の米の保管倉庫であるとともに、年間、市民を含め80万人の皆様が訪れる本市最大の観光地です。明治26年に建設されるまでの成り立ちには本市の地理歴史やそれぞれの時代に生きてきた人々の情熱が交錯し、文字通り酒田市のシンボルとなっています。</p> <p>私の思いを言わせていただくと、山居倉庫は酒田市にとって貴重な歴史的資産だと思います。従いまして私は出来る限りあるままの姿で保全したい。しかしながら、酒田の持ち物ではないわけです。手前の2棟は酒田市のものですが、残りの10棟と周辺の施設は酒田市のものではありませんので、そういう意味では酒田市が責任を持って保全したいという思いが強くあります。そのためには自分の持ち物にしなければなりませんので、史跡という指定を受けることによって取得の際には8割国から補助が頂けるということがございます。その手法を使ってまずは酒田市の責任の下でしっかりと将来に向けて保全をしたいという思いがまず第一でございます。</p> <p>第二は、ただ昔のまま飾っておくだけでは本来有効な活用ではないのではないか。できれば地域の賑わいや産業経済に寄与するような史跡として活用できないかと捉えている所でございます。</p> <p>酒田市には山居倉庫を含めて4つの史跡があります。城輪柵跡、堂の前遺跡、鑑屋、そして山居倉庫。奈良時代、平安時代、江戸時代、明治・大正時代ということで、4つの史跡が酒田市の歴史的資産として指定を</p>
------	---

	<p>受けたということになります。私は、歴史的資産は大事に将来に引き継いでいきたいという思いがありますし、市長としてこの街をどのようにしていきたいかという議論をした時に、ある有識者の方から酒田は歴史のある街だから歴史市街地構想というものを打ち出したらどうかというアドバイスをしてくださった方もいらっしゃいました。酒田市のこれまでの歴史的な発展発達の経緯を見ますと、日本一の大地主といわれた本間家の歴史、米作りの歴史、港を使った交易で栄えた街であろうと自分としては理解し、それらを活かした歴史市街地をしっかりと整備することでこの地域ににぎわいをもたらしていけたらと思っていました。そういう意味では山居倉庫についても当時のまま保全するのではなくて、それから背後地には立派なケヤキがございます。ケヤキは酒田市「市の木」になっていますけれども、あのケヤキも実は弱ってきているということもあって、これもしっかりと保全保存していかなければいけない。建物もそうですけれど、木もそうですけれど、周辺の環境も、新井田川に面している石垣、こういったものも大事に保全していきたいという思いがあります。そのことを酒田市の顔として、これからも整備していきたいし、そこに訪れる人たち、市民や観光で訪れる方々がいつ来ても、何度来ても素晴らしいと言って頂けるような史跡として活用していきたいというのが私の思いでございます。ただ、そのまま残すことは一定程度お金をかければできるわけですけど、活用して多くの皆様から憩いの空間として安らぐ空間としても活用してもらって、更に何度でも来たいと思って頂けるような施設にしていくためには相当なアイデアが必要ですし、また酒田市の財政力からいっても無尽蔵にお金があるわけではございませんので限られてくる。そういった中で、今回の保存活用計画の策定委員会を開催させていただく訳ですけども、是非委員の皆様からそのアイデアを貸していただきたい。委員会は実質2か年と言いましても、正味一年ちょっとしかないと思っていますが、酒田市のシンボルである山居倉庫を後世に伝えていくために、保存活用計画を是非とも作成をしなければならないというのが文化庁からの御達しでもございますので、現実的でしかも有効に作用する保存活用計画を作るために皆様のアイデアを是非お聞かせいただきたいと持っております。</p> <p>今回が初めての第1回目の委員会ということでございます。委員の皆様からはこれからの進め方等について忌憚のない意見を頂戴して、2回目以降につなげていきたいと思っておりますのでよろしくお願いを申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。</p>
--	---

3 出席者紹介

	委員、オブザーバーの順で自己紹介
--	------------------

4 説明 史跡山居倉庫について

事務局	<p>史跡山居倉庫について事務局より説明させていただきます。</p> <p>なお、ここで市長は公務のため退席となります。</p> <p>以下の資料について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(資料1) 関連計画について (酒田市総合計画及びその他計画) ・(資料2) 史跡等の概要について ・(資料3) 史跡等の本質的価値について ・(資料4) 現状について <p>説明でご不明な点があればお聞きしたい。</p>
一同	特になし。

5 協議事項

(1) 委員長及び副委員長の選出

事務局	<p>委員長・副委員長の選出</p> <p>酒田市史跡山居倉庫保存活用計画策定委員会設置要綱4条2項の規定により、委員長・副委員長の選出は委員の互選により定めることとなっている。立候補、ご推薦があればよろしく申し上げます。</p>
委員	事務局に一任したいと思う。
事務局	事務局一任という声がありましたが、よろしいでしょうか。
一同	異議なし。
事務局	<p>事務局案について申し上げます。</p> <p>酒田市史跡山居倉庫保存活用計画策定委員会委員長を田中哲男委員に、副委員長につきましては清野誠委員にお願いしたいと考えております。いかがでしょうか。</p>
一同	(拍手)
事務局	ありがとうございます。それでは、田中委員、清野委員よろしく申し上げます。

(2) 山居倉庫保存活用計画策定について

事務局	<p>(2) 山居倉庫保存活用計画策定について協議させていただきます。</p> <p>要綱の第4条3項の規定により、座長は只今選出されました田中委員に申し上げます。</p>
田中委員長	次第に基づいて、(2) 山居倉庫保存活用計画策定について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料5) について説明
田中委員長	事務局からの説明について、ご質問等がございましたらお願いします。
委員	県の文化財保存活用大綱や市の文化財保存活用地域計画は作成していないのか。これらと本計画の整合性はどうなっているのか。市の考え方は説

	明の通りとして、県全体としての考え方はどうなっているのか。
オブザーバー	山形県の保存活用大綱は本年度完成予定。有識者にご意見を伺いながら作成中。
事務局	酒田市の文化財保存活用地域計画は準備期間であり、計画作成に至っていない状況。
委員	活用を考えるにあたって、市として具体的にどのような活用をイメージしているのか教えて頂きたい。
事務局	次回の委員会までに示させていただく。
委員	議論する対象範囲について伺いたい。 新井田川の左岸は河川で、右岸は港湾となっているが、山居橋や右岸の活用（視点場としての利用）など、議論をどの程度までこの場で行うのか。トータルで議論した方が史跡の活用としては良いと考える。そういった観点で事務局からご説明をお願いしたい。
事務局	様々な見方が必要だと思うので、そういった意見も含めてご検討、ご意見を頂戴したい。
委員	議論していく中で、担当部署の考えの確認が必要であるとか、場合によってはタイミングを見て追加でご参加いただくことも視野に入れると良いと思う。
田中委員長	他にどうでしょうか。 大体よろしいようですので、協議事項はここまでとします。

6 その他

田中委員長	その他、事務局か何かあるでしょうか。
事務局	事務局からは特にありません。
田中委員長	委員の皆様から何かございましたら。 特に内容ですので、以上で協議を終了したいと思います。

7 閉会

事務局	ご審議ありがとうございました。 事務連絡 明日午前10時より、山居倉庫の視察を計画している。参加される方は午前10時に庄内米歴史資料館前にお集まりいただきたいと思います。 倉庫内は足元の悪い場所もあるため、動きやすい服装でご参加ください。ヘルメットは事務局で準備いたします。 これもちまして、第1回酒田市史跡山居倉庫保存活用計画策定委員会を終了させていただきます。
-----	--